

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	83%	16%		人数が多い時にはグループ分けを行い療育をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			配置は足りているが、子どもの様子に応じてマンツーマンで対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	50%	16%	見て行動出来るように視覚的な支援メリハリを心掛けている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	100%			目標を設定した後実施するためにはどのような事を行ったらいのか支援者で話合いの時間を取り、アクションを取りたい内容を伝えるようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			対応に困った時にはその場で相談し対応策を講じている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			アンケートを実施し保護者の意見を今後取り入れる予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	66%	33%		外部評価は行っていないが業務の改善は行っている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			今後も実施して行く
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			他事業所の見学をさせてもらい療育のヒントとしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			保護者の意向と職員の意向が同じになるように努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			どんな活動が成長への手助けとなるのか、支援者で日々相談しながらプログラムを作成している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	16%		色々なプログラム内容を用意し子どもたちが楽しめる物を取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%		長期休暇はより関わり、内容を考え支援の手助けになる内容を取り入れている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	66%	33%		集団の活動、個別の活動を取り入れその子に合った内容を考え組立てるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日午後出勤の職員も一緒に昼礼を行いその日の内容の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			記録を記入しながら振り返りの時間を作り、足りない部分は朝礼、昼礼で話し合いの場を設けている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			前回の様子に踏まえ今後の対応を話し合っている。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリング時期に保護者と話をする時間を設けている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	83%	16%		活動内容は本児の様子も配慮し組み立てている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			職員間で話し合い、最もふさわしい者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			学校での情報を教えて頂き、事業所の様子も伝えるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	16%	83%		協力医療機関と連絡が取れる様になっている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	66%	33%		就学前、又は検診の前に情報を教えて頂き、こちらでの様子も伝える事で情報の共有を行う事が出来た。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	66%	33%		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%		子ども子育て総合センター、保健センター、病院等に出向き助言や支援内容の確認を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16%	50%	33%	今後検討していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		100%		市で行っている連絡会に参加した。コロナ渦のため開催の回数は減っている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者に事業所での様子を伝え共通理解を図っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		100%		ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者間交流を行う事で対応のヒントやレスパイト支援の時間を提供している。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			利用が開始される前に説明しわからない時はその都度説明するようにしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			子どもとの対応方法に悩んだ保護者がいた時にはその時にアドバイスをする事で保護者支援に努めている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		66%	33%	年に数回ではあるが保護者間交流を行った。今後も状況を踏まえ行って行きたいと思う。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			職員間で連携しその後同じようなことがおこらないように配慮していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			メール等情報伝達手段を使い活動の様子を保護者に送るようにしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%			保護者に同意書を記入して頂いている。その内容に寄って注意して扱っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			すぐに連絡がつきやすい物で情報伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	50%		今後検討していく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアルを作成している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			月に1度避難訓練を実施して避難経路、避難の仕方等訓練している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員会を設置し研修を職員全員行うようにしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			身体拘束に当たる支援は今現在は必要ない児童が多いため行っていないが、その事例が出た時には保護者に必要な事を伝え計画書に記載する様にしていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			アレルギーの有無を事前に確認している 指示書の作成は今後検討して行く。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットがあった時には周知し、再発防止に努めている。